

クラシズム

CLASISm

2016 夏
vol.02 1000円+税

心に
ひとつ、
あなたの
庭を

ちよつとレクサスな女たち
福知山を往く

ギャラリリータウン
松本を訪ねて

商店街応援プロジェクト

奈良
もちいどの
商店街

「展望BAR REN KOBE」からの夜景。湯浴みの後に神戸自慢の地酒を使ったオリジナルの日本酒カクテルを1杯というも粋だ。席料がかからないのもうれしい。



大人の
贅沢宿

近くても“旅感”あり 究極の温泉旅館

神戸新港第一突堤に昨年末オープンした天然温泉施設「神戸みなと温泉 蓮」。
神戸三宮駅からタクシーで5分ながらそこに予想以上の“非日常”がある。



③



②



①

①「ハーバースイート」のテラスからの眺め。昼間は空も海も清々しく、六甲山までも気持ちよく見通せる。② 客室は全90室あり、テラスを含めて60~122㎡とゆったり。写真は「ハーバースイート」のベッドルームで、室内には、リビングや和室、天然温泉かけ流しの半露天風呂などもある。③ 神戸港を一望できる最上階の「展望大浴場」は宿泊者だけが利用

できる特別な空間。屋外にはJAXON社製の巨大ジャグジーもあり、その奥には天然温泉の展望風呂もある。④ 料理人が目の前で寿司を握ってくれるブッフェ。揚げ立ての天ぷらや自慢のローストビーフも食べ放題。宿泊者のみが利用できる贅沢なエンターテインメント空間だ。

神戸っ子も見たことのない 新オーシャンビュー

温泉旅館と聞いて訪れたが、これほど見事な夜景を見ることのできると思わなかった。展望バーからの眺めは、まさに神戸1000万ドルの夜景にふさわしい。

「神戸みなと温泉 蓮」は、神戸新港第一突堤の地下11.50mから湧き出る源泉かけ流しの天然温泉旅館。そんなところに温泉があつたの？と首をかしげる人も多いかもしれないが、それくらい新しい。天然温泉は日帰りでも利用できるが、ここはぜひ宿泊してみよう。なんでも、最上階の展望大浴場を利用できるのは宿泊者に限られているというから。

ロビーに立つと、神戸三宮の喧騒が嘘のような静けさだ。お目当ての展望露天風呂へと向かうと、湯船の先にパノラマの景色が広がっている。巨大なジャグジーにとっぷり浸かつて空を見上げれば、神戸にいることを忘れてしまいうまくらいだ。客室に戻ってテラスに出れば、港の景色が目の前に飛び込んでくる。この方向から見ると、神戸港の景色は珍しいぞ、と地元神戸っ子たちも「初めて見る景色」と目を丸くするそうだ。



神戸みなと温泉 蓮

☎078-381-7000 📍神戸市中央区新港町1-1 🕒チェックイン15:00、チェックアウト11:00 🍽️シーサイドデラックス1万5,500円～、ハーバースイート1万9,000円～、オーシャンスイート2万1,000円～(どちらも1泊2食付1名料金、4名利用時の場合、小学生未満の利用不可。消費税・入湯税別) ※日帰り天然温泉利用料:平日2,300円、土日祝2,700円(中学生未満の利用不可。消費税・入湯税別) 🚗電車:各線三宮駅・JR元町駅よりタクシーで約5分、(三ノ宮駅前から専用無料シャトルバス運行) 車:阪神高速3号神戸線京橋出入口から約1分、ハーバーハイウェイ新港出口より約1分 🌐<https://ren-onsen.jp/>

料理人の顔が見える ライブ感もたまらない

夕食は「御食事処 ライブ割烹 万蓮」で。プuffスタイルとはいえず、各料理の先に料理人が立ち並び、目の前で寿司を握り、天ぷらを揚げてくれ、ローストビーフを切り分けてくれる。料理人の顔が見えるオープンな空間では、旬の素材を聞くなどの料理人とのちょっとしたコミュニケーションもうれしくて、二皿を選ぶのにワクワクしてしまう。

リゾートホテル感満載の宿だが、あえて温泉旅館と呼ぶのは、その過ごし方にあるのだろう。館内は浴衣姿で大浴場や御食事処、そして冒頭の展望バーへも行き来できるのだ。おもてなしはホテル、過ごし方は温泉旅館といったこどりをした折衷スタイルが新たな魅力だろう。温泉で体をほぐし、時を忘れて景色にみとれる……。じっくり浸りたいと願う非日常の空間は、交通費も移動時間もかからない、案外身近なところにある。

